

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 施工は必ず専門の工事業者の方が行なってください。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



注意

- 取付けを誤った場合に、使用者などが中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

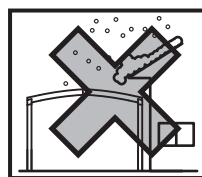


注意

- 製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

- ・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・600タイプの場合は積雪（新雪）20cmを超えない地域に設置してください。1500タイプの場合は50cmを超えない地域に設置してください。
- ・建物の屋根から落雪を直接受けけない位置に設置してください。
- ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- ・施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。
排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・落雪後枠をご使用の際は、雪が落ちやすい構造の為、隣地から最低50cm程度離して施工してください。
また、施工する敷地の条件によってはさらに離して施工してください。



<基礎工事について>

- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によって（軟弱な地盤等）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

注意

<施工の際に>

- ・柱の移動は当社指定範囲内にしてください。
- ・「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- ・ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、ゆるまないように締付け固定してください。
- ・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコン	トスシール380
トーレシリコン	SE960

<施工の後に>

- ボルト、ネジを増し締めしてください。
- 取扱説明書は施主様にお渡しください。

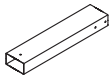
INDEX

1	梱包明細表	4
2	基本寸法と各部名称	7
1.	各部名称	7
2.	基本寸法	8
3	基本タイプの施工方法	11
1.	基礎の施工	11
2.	柱と梁の取付け	12
3.	梁と梁の接続、ワイド棟木の取付け	12
4.	母屋・後枠の取付け	13
5.	側枠・アーチの取付け	14
6.	屋根パネルの取付け	15
7.	竖樋の取付け	17
4	縦連棟、延長の施工方法	18
1.	基礎の施工	18
2.	本体の連結	19

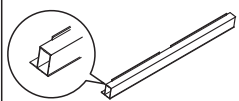
1 梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

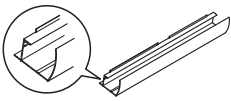

【1】柱セット

名 称	略 図	員 数
柱		1

【2】母屋セット

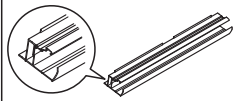

名 称	略 図	員 数	
		50・56型	12型
母屋		5	

【3】後枠セット

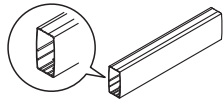
名 称	略 図	員 数	
		50・56型	12型
後枠		2	2
竖樋		2	—

【4】落雪後枠セット

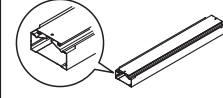
オプション

名 称	略 図	員 数	
		50・56型	12型
落雪後枠		2	2
竖樋		2	—

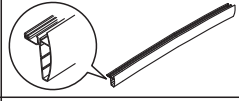
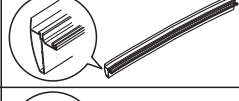

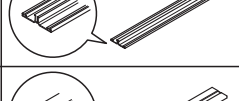

【5】梁セット

名 称	略 図	員 数
梁		1


【6】棟木セット

名 称	略 図	員 数		
		50型	56型	12型
ワイド棟木		1	1	1

















【7】幅セット

名 称	略 図	員 数				
		50型	56型	連棟50型	連棟56型	連棟12型
側枠R		1	1	—	—	—
側枠L		1	1	—	—	—
側枠カバー		2	2	—	—	—
アーチ		7	8	8	9	2
アーチカバー		7	8	8	9	2

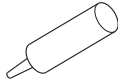

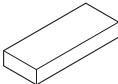

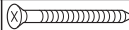








【8】ブラケットセット

名 称	略 図	員 数
		1本入
ブラケット		1

【9】 組立て部品セット

名 称	略 図	員 数						
		600タイプ		1500タイプ		12型	1500落雪タイプ	
		50型	56型	50型	56型		50型	56型
後枠コーナーキャップR		2	2	2	2	—	2	2
後枠コーナーキャップL		2	2	2	2	—	2	2
ワイド棟木キャップ		2	2	2	2	—	2	2
ブラケットカバーL		4	4	6	6	2	6	6
ブラケットカバーR		4	4	6	6	2	6	6
ワイド棟木取付金具		4	4	6	6	2	6	6
梁連結金具		4	4	6	6	2	6	6
雨樋アタッチメント		2	2	2	2	2	2	2
アーチカバーキャップ		—	—	—	—	—	18	20
雨樋穴ふさぎキャップ		2	2	2	2	2	2	2
アタッチメントパッキン		4	4	4	4	4	4	4
ドレンエルボ φ40用		2	2	2	2	2	2	2
92°エルボ φ40用		4	4	4	4	4	4	4
でんでん		6	6	6	6	6	6	6
接着剤		1	1	1	1	1	1	1
アンカー棒		4	4	6	6	2	6	6

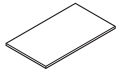
【9】 組立て部品セット (つづき)

名 称	略 図	員 数						
		600タイプ		1500タイプ		12型	1500落雪タイプ	
		50型	56型	50型	56型		50型	56型
ブチルシーリング材		1	1	1	1	1	1	1
穴隠しシール		56	56	84	84	28	84	84
パネル緩衝材		80	96	80	96	24	80	96
【9-1】 M8×20六角ボルト (平座金・緩み止め付)		28	28	42	42	14	42	42
【9-2】 φ5×75サラタピンネジ		4	4	6	6	2	6	6
【9-3】 φ5×14トラスネジ		8	8	13	13	4	13	13
【9-4】 M10×100六角ボルト		12	12	18	18	6	18	18
【9-5】 M10用平座金		24	24	36	36	12	36	36
【9-6】 M10用バネ座金		24	24	36	36	12	36	36
【9-7】 M10用袋ナット		12	12	18	18	6	18	18
【9-8】 φ4×10ワッシャーヘッドネジ		526 (580)	576 (636)	544 (608)	604 (664)	146 (158)	554 (608)	604 (664)
【9-9】 φ4×13ナベドリルネジ		142	156	142	156	37	142	156
【9-10】 φ4×13ナベドリルネジ 色付き		—	—	—	—	—	19	21
取付説明書	—	1	1	1	1	—	1	1
取扱説明書	—	1	1	1	1	—	1	1

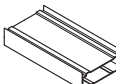
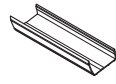
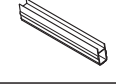


※ () は80用を示します。

※ 1500落雪タイプは **オプション** です。

【10】 屋根パネルセット

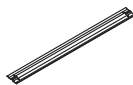


名 称	略 図	員 数	
		1枚入	2枚入
屋根パネル		1	2

【11】 連棟部材セット


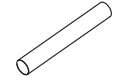
名 称	略 図	員 数
棟木スリーブ		1
後枠スリーブ		2
母屋スリーブ		10
ワイド棟木止水パッキン		1
【11-1】 φ4×13ナベドリルネジ		122

【12】 屋根材ホルダーセット

オプション

名 称	略 図	員 数		
		8本入 (50型)	9本入 (56型)	2本入 (12型)
屋根材ホルダー		8	9	2
屋根材ホルダースペーサー		20	20	6
【12-1】 φ5×13ナベドリルネジ		22	22	6
取付説明書	—	1	1	—

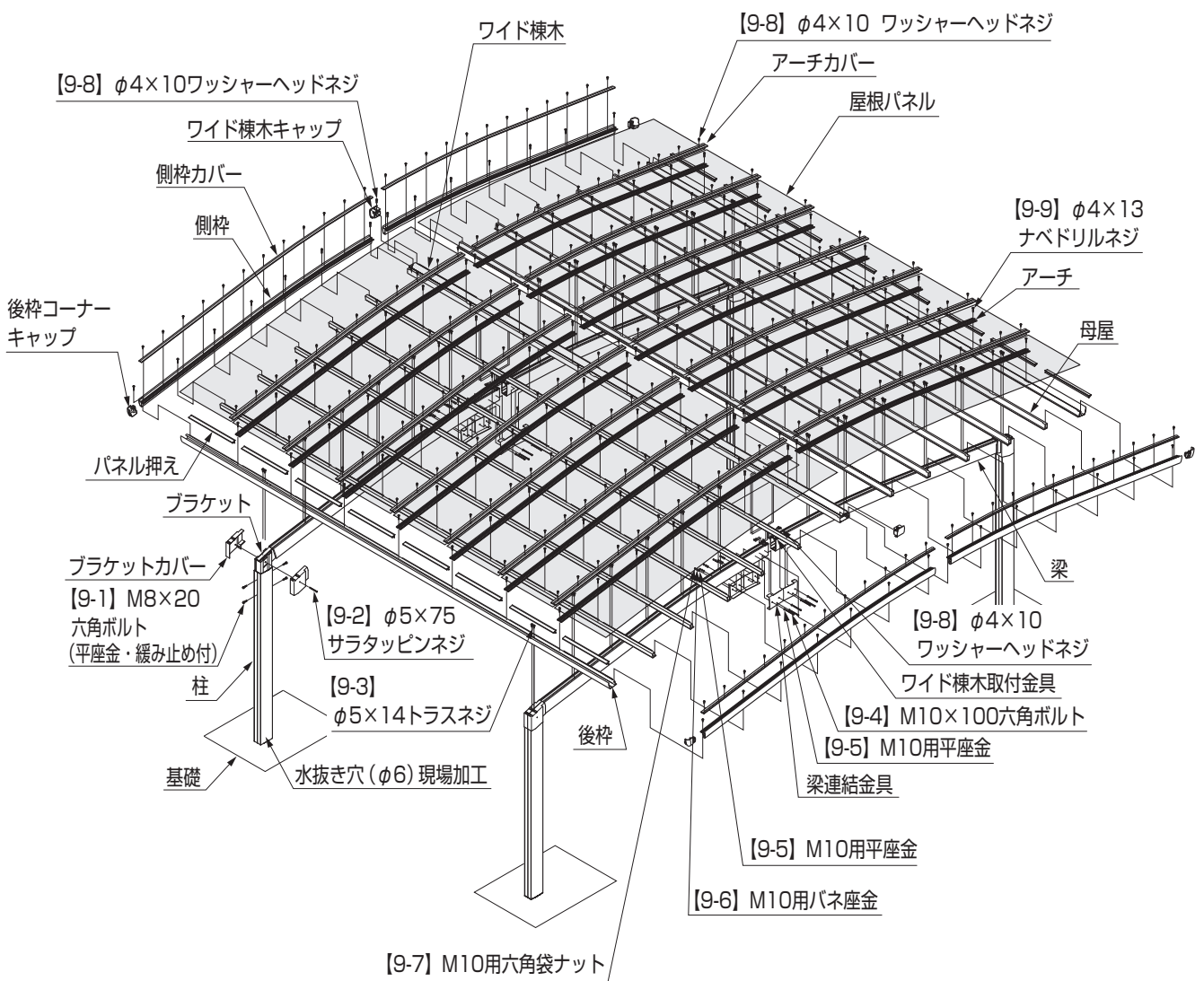
【13】 竖樋セット

名 称	略 図	員 数	
		L3100	L1000
竖樋 L=3100 φ40		1	—
竖樋 L=1000 φ40		—	1

2 基本寸法と各部名称

1. 各部名称

※図は600タイプを示します。
※1500タイプは柱6本になります。



2. 基本寸法

2-1 基本タイプ ※図は標準柱仕様を示します。()はロング柱23仕様、[]はロング柱28仕様、
 < >は奥行き56型を示します。
 ※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

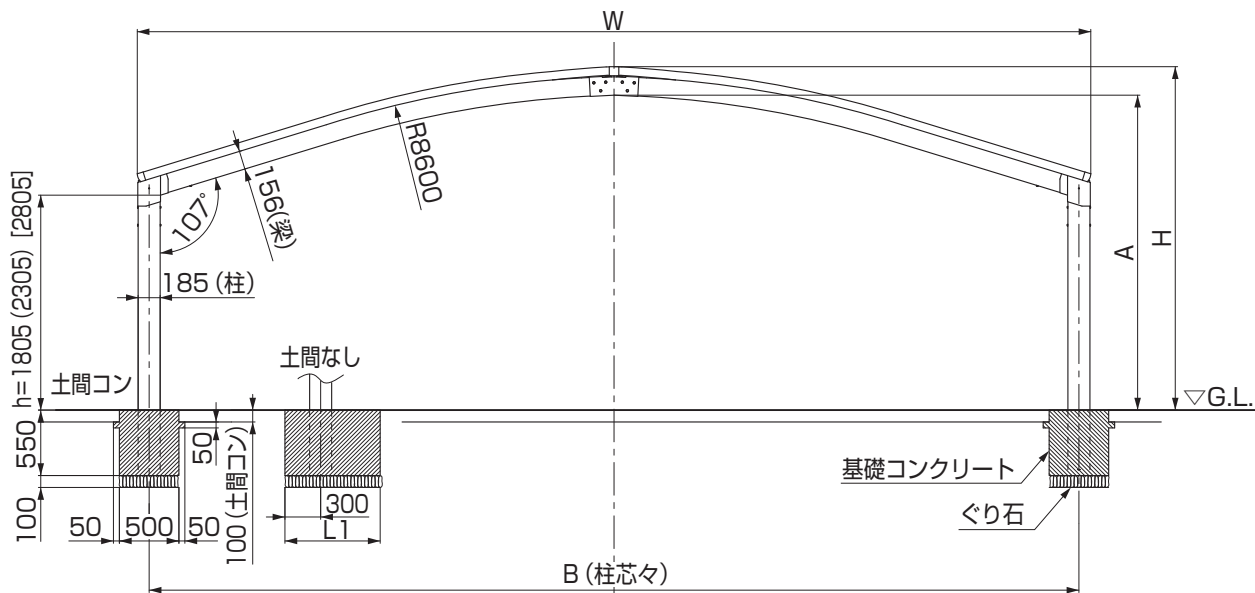


図2-1

表2-1 寸法表

間口	W	A	H	B
72	7208	2521 (3021) [3521]	2762 (3262) [3762]	7010
80	8008	2643 (3143) [3643]	2884 (3384) [3884]	7810

表2-2 寸法表

タイプ	間口	L1	タイプ	間口	L1
600	72	800	1500	72	800
	80	900		80	900

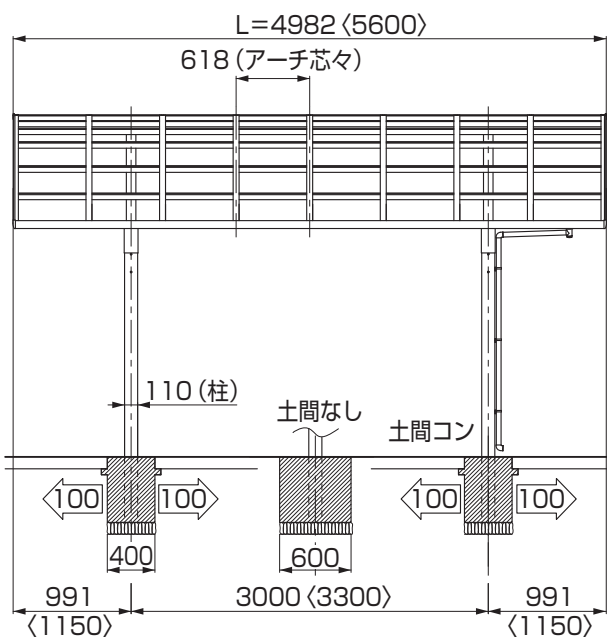


図2-2 600タイプ

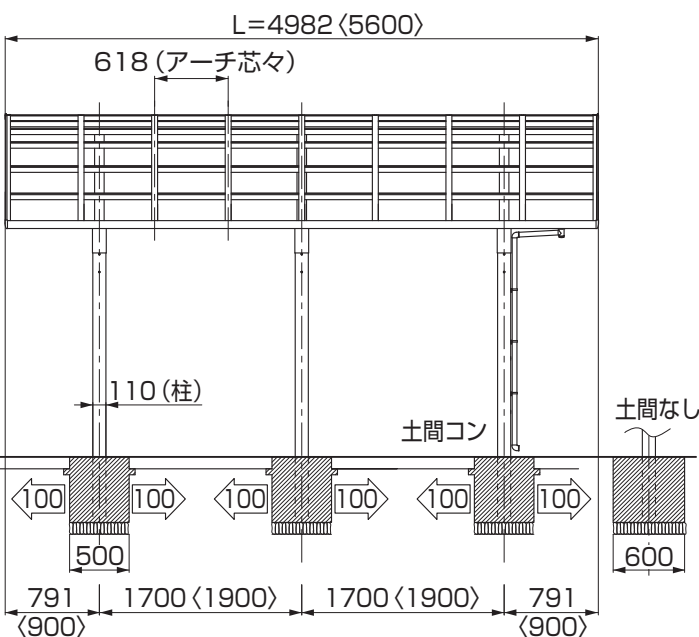


図2-3 1500タイプ

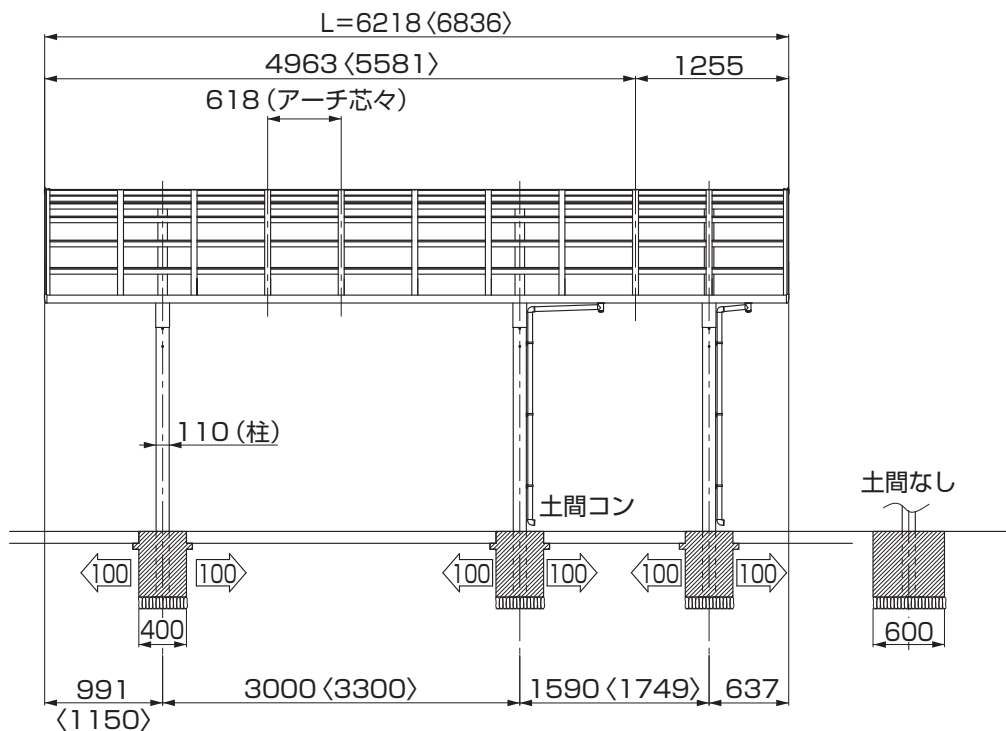
補足

●凍上標準柱の高さ(H)は、標準の+50mmになります。(1500タイプのみの設定です。)

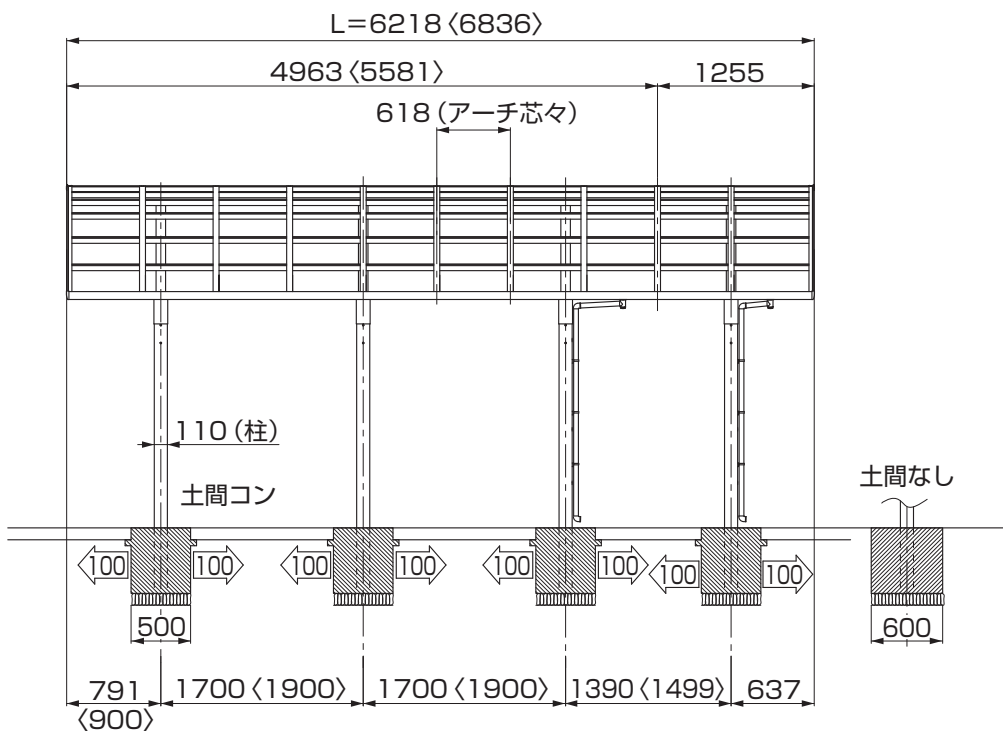
2-2 延長タイプ

※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。
 ※〈 〉は奥行き56型を示します。

(1) 600タイプ



(2) 1500タイプ



2. (つづき)

2-3 縦連棟

※柱芯々寸法は±100mm以内になしてください。

※〈 〉は奥行き56型を示します。

(1) 600タイプ

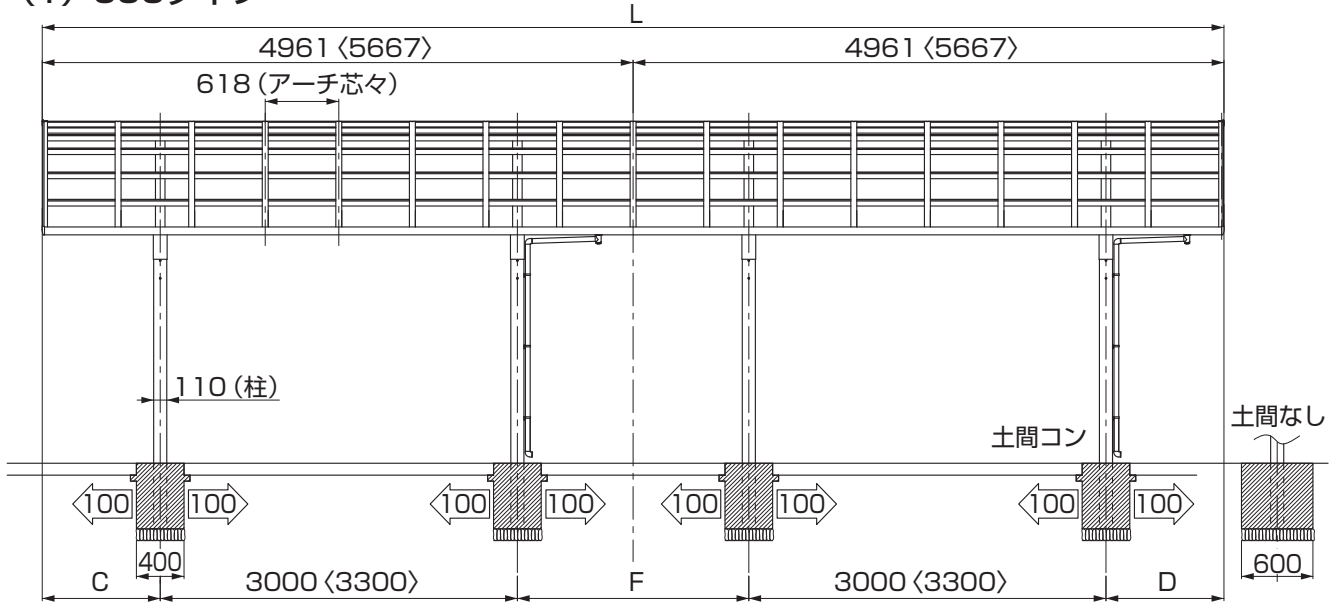


表2-3 寸法表

奥行き	L	F	C	D
50-50	9926	1944	991	991
50-56	10544	2103	991	1150
56-56	11162	2262	1150	1150

(2) 1500タイプ

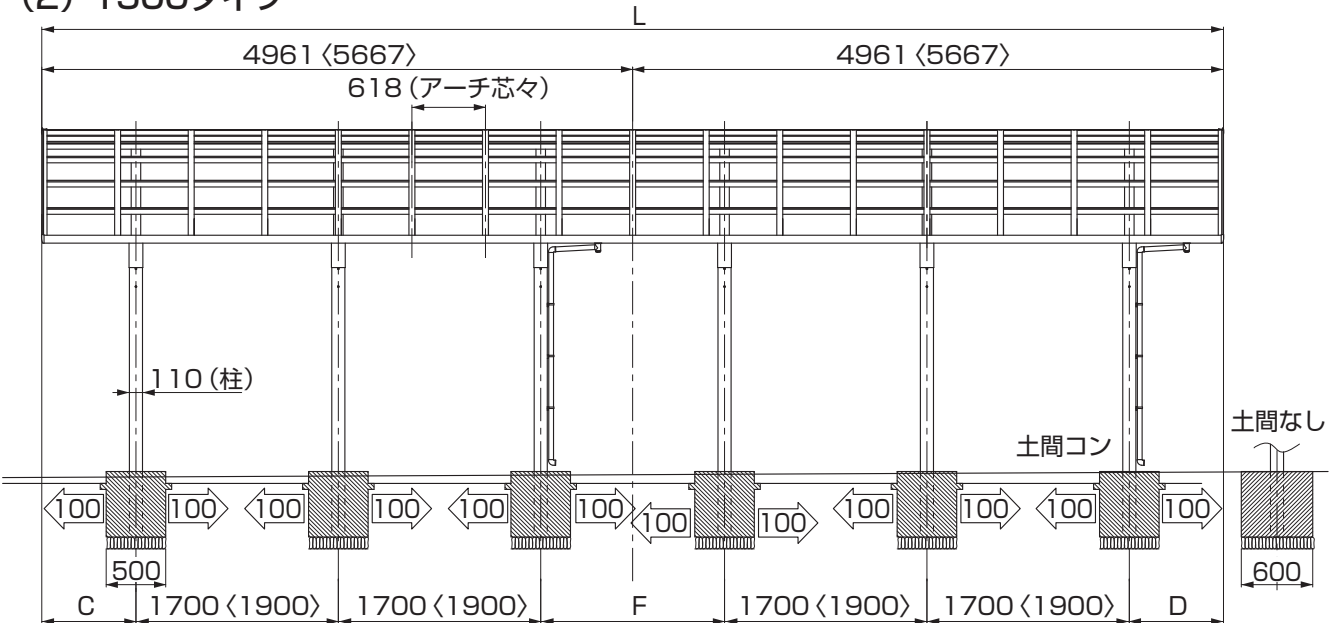


表2-4 寸法表

奥行き	L	F	C	D
50-50	9926	1544	791	791
50-56	10544	1653	791	900
56-56	11162	1762	900	900

3 基本タイプの施工方法

1. 基礎の施工

1-1 墨出し位置

※〈 〉寸法は奥行き56型を示します。

表1-1 墨出し位置

サイズ呼称	W	B
72	7208	7010
80	8008	7810

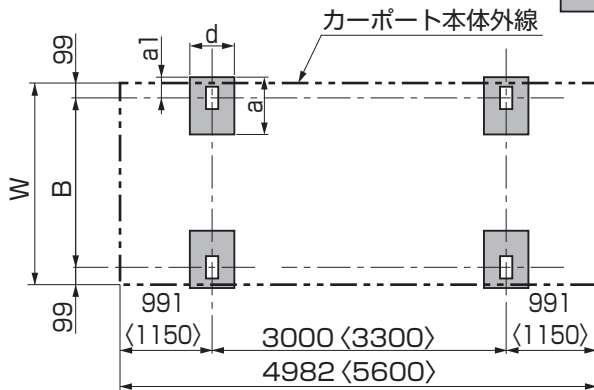


図1-1 600タイプ

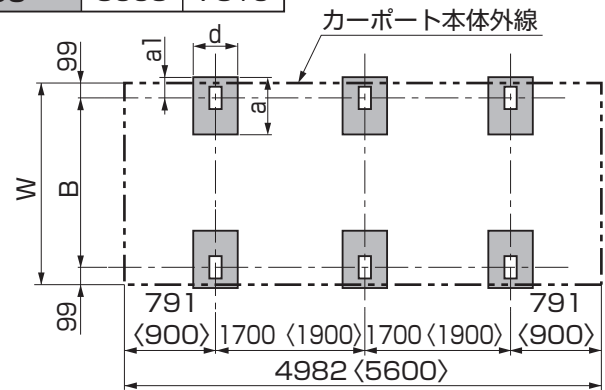


図1-2 1500タイプ

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補足

●柱の移動は±100mm以内ですが、柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

1-2 基礎寸法

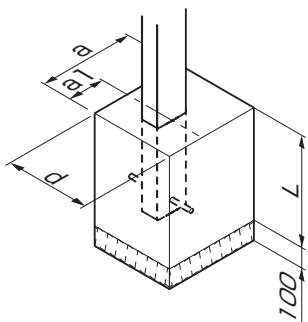


図1-3 土間なしの場合

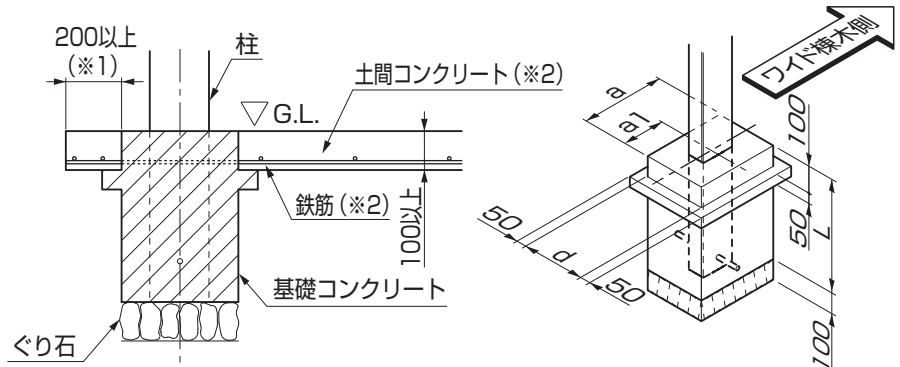


図1-4 土間コンクリート仕様の場合

表1-2 基礎寸法

タイプ	サイズ呼称	土間なし			土間コンクリート			L
		a	a1	d	a	a1	d	
600	72	800	300	600	500	250	400	550
	80	900	300	600	500	250	400	550
1500	72	800	300	600	500	250	500	550
	80	900	300	600	500	250	500	550
1500凍上	72	800	300	600	500	250	500	1000
	80	900	300	600	500	250	500	1000

ポイント

- 基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。(※1)
- 土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。(※2)

2. 柱と梁の取付け

【9-1】 M8×20

六角ボルト (平座金・緩み止め付)

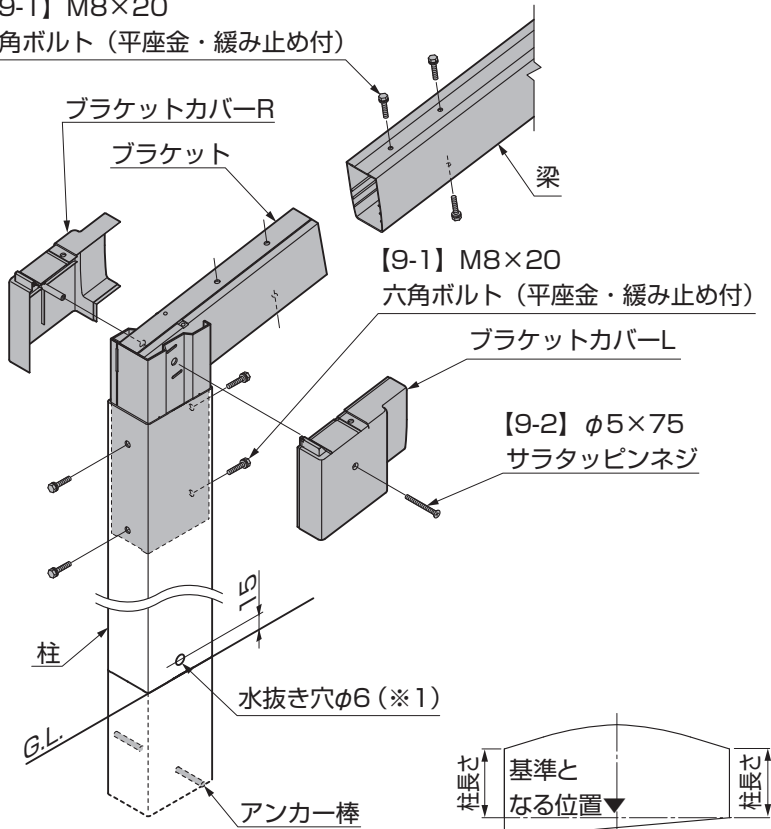


図2-1

【9-1】 M8×20

六角ボルト (平座金・緩み止め付)

ブラケットカバー-L

【9-2】 φ5×75
サラタッピンネジ

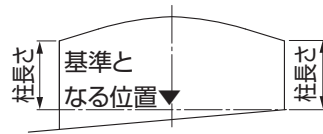


図2-2

- ① 柱にアンカー棒を差込んでください。
- ② ブラケットを柱に【9-1】で取付けてください。
- ③ 梁をブラケットに【9-1】で取付けてください。
- ④ ブラケットカバーR、ブラケットカバーLを【9-2】で取付けてください。

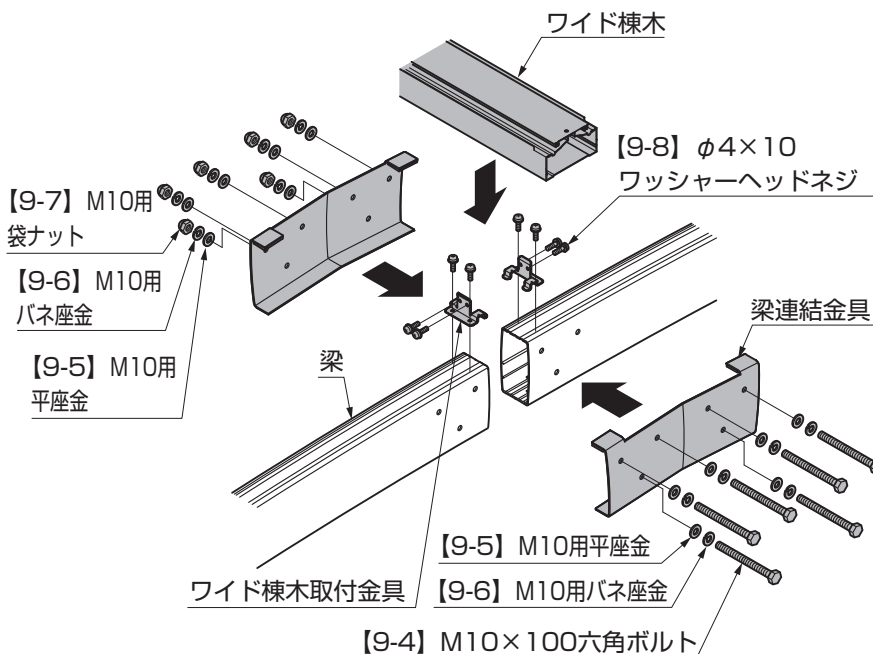
⚠ 注意

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- 柱のG.L.付近(地上側)にφ6水抜き穴をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。(※1)

🔑 ポイント

- 柱は基準となる位置から同じ高さとしてください。高さが違う場合は、ワイド棟木部に水がたまり、漏水するおそれがあります。(図2-2参照)
- ロング柱を凍上標準柱として使用する場合は、埋込みを1000mmにして施工してください。

3. 梁と梁の接続、ワイド棟木の取付け



- ① 左右の梁を梁連結金具と【9-4】、【9-6】、【9-5】、【9-7】で接続してください。
- ② 梁接続部にワイド棟木取付金具を【9-8】で取付け、ワイド棟木を【9-8】で固定してください。

4. 母屋・後枠の取付け

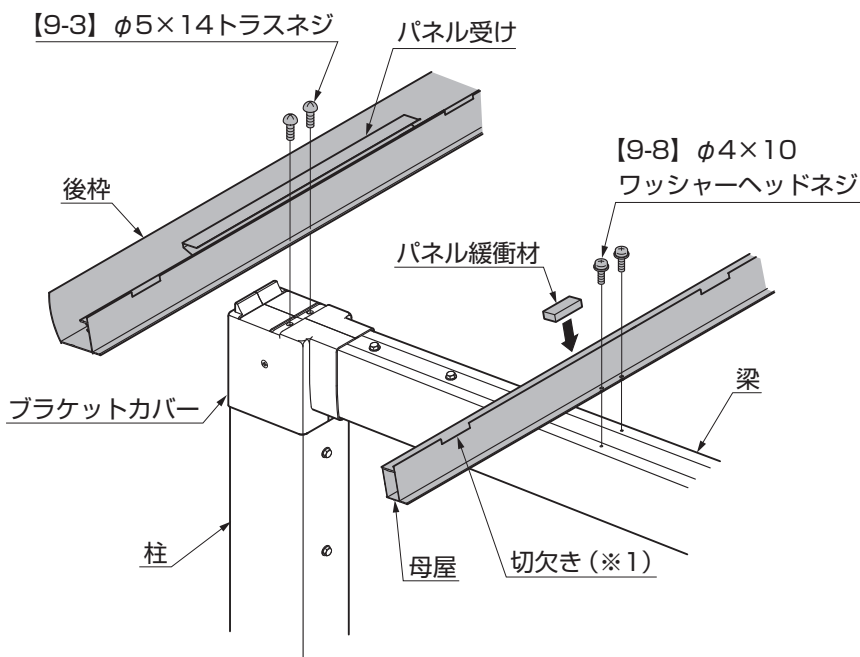


図4-1

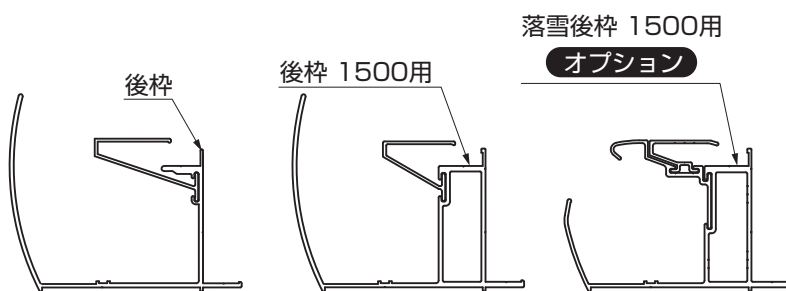


図4-2

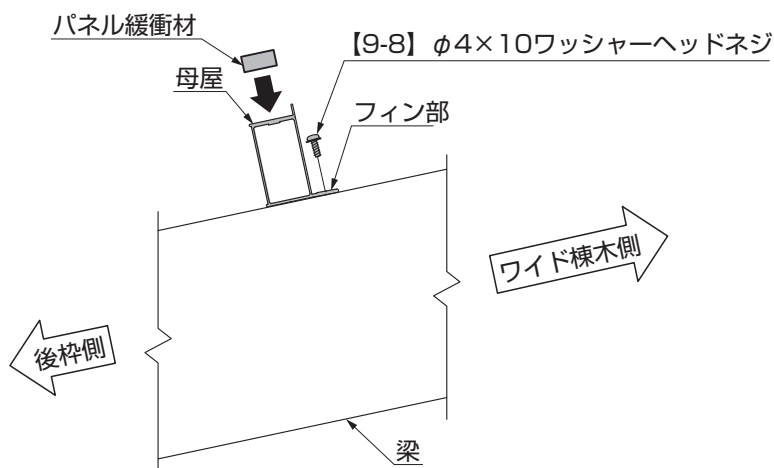


図4-3

①後枠をブラケットカバーに【9-3】で取付けてください。(図4-1参照)

ポイント

- パネル受けを後枠の切欠きと切欠きの間に均等になるように移動してください。
- 後枠には標準タイプ、後枠1500用、落雪後枠1500用 **オプション** の3種類があります。(図4-2参照)

- ②パネル緩衝材を母屋の切欠きと切欠き(※1)の間に貼付けてください。(図4-1、図4-3参照)
- ③ワイド棟木側にフィン部を向けて、母屋を梁に【9-8】で取付けてください。(図4-3参照)

ポイント

- 柱を移動した場合は、ワイド棟木・後枠・母屋を梁に合わせて後枠はφ5.5、ワイド棟木はφ3.5、母屋はφ4.5の穴加工を行なってください。
- 既存の加工穴には穴隠しシールを貼ってください。

5. 側枠・アーチの取付け

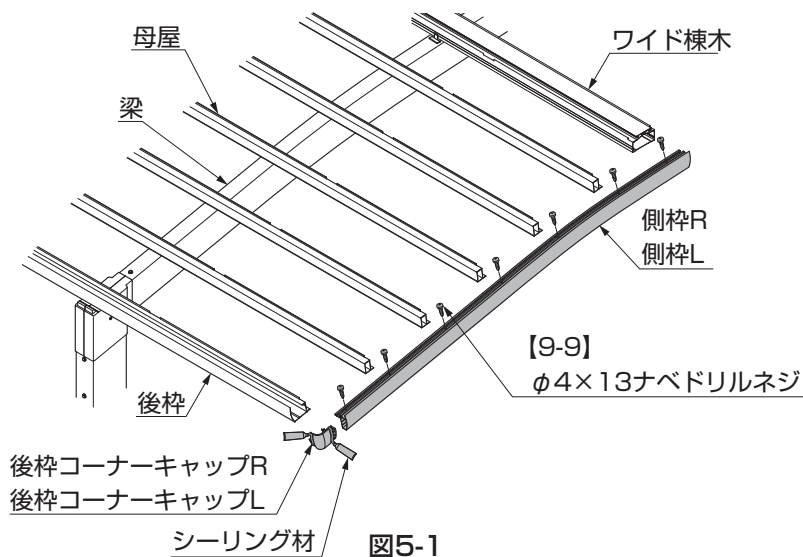


図5-1

- ① 後枠コーナーキャップR・後枠コーナーキャップLにシーリング材を充てんして、側枠R・側枠Lに取付けてください。(図5-1、図5-2参照)

ポイント

- 側枠R・側枠Lには左右があります。切り欠きが入っている方を後枠側にしてください。(図5-4参照)

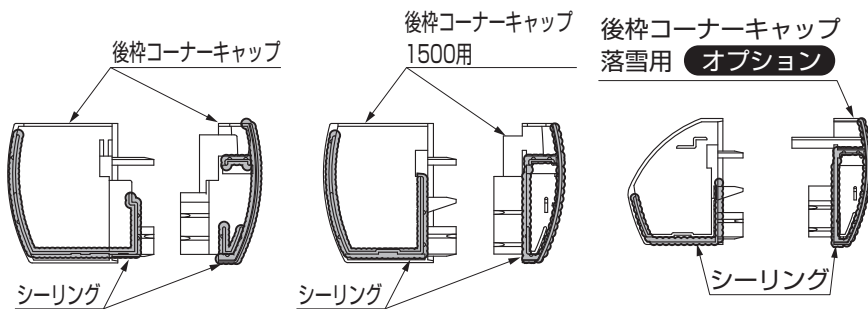


図5-2

- ② 後枠・母屋・ワイド棟木に側枠R・側枠Lの穴に合わせて【9-9】で取付けてください。(図5-1参照)

【9-9】φ4×13ナベドリルネジ

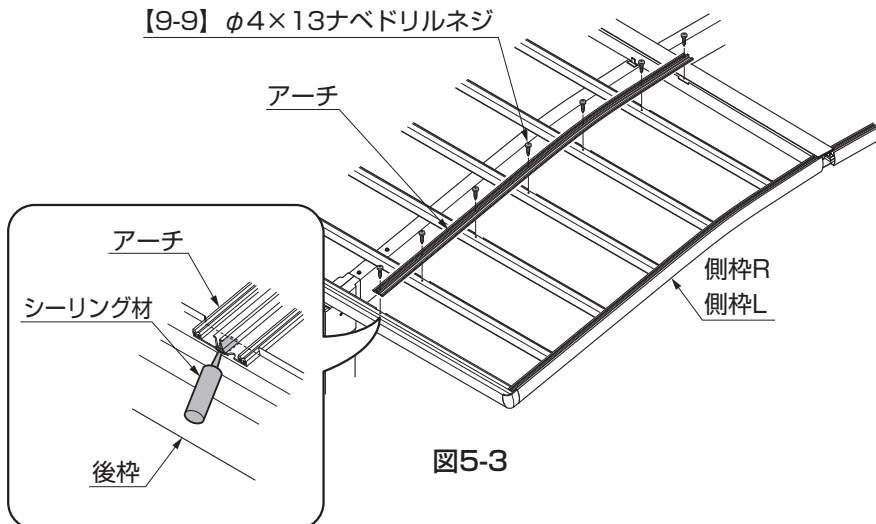


図5-3

- ③ アーチの前後を確認して、ワイド棟木・後枠・母屋にアーチの穴に合わせて【9-9】で取付けてください。(図5-3、図5-4参照)

ポイント

- アーチを後枠に取付ける前に、アーチと後枠のすき間にシーリング材を充てんしてください。(図5-3参照)

補足

- 後枠・母屋・ワイド棟木には加工穴はあいていません。

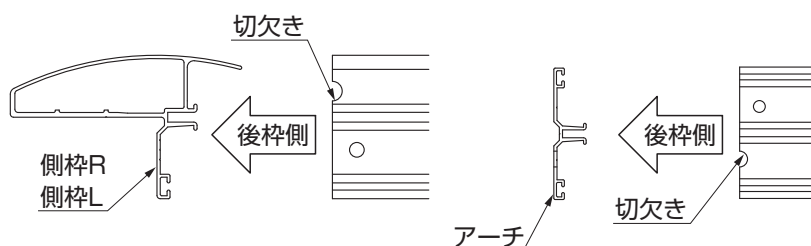


図5-4

- ④ 屋根枠まわりの対角・水平および柱の垂直を出してください。

6. 屋根パネルの取付け

6-1 屋根パネルの取付け

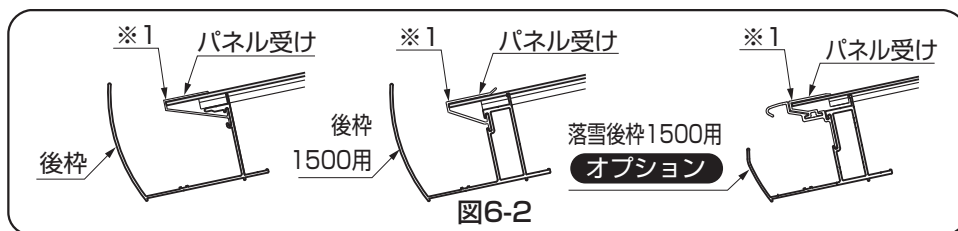


図6-2

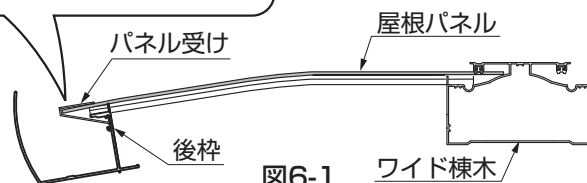


図6-1

①屋根パネルをワイド棟木に差込み、パネル受けに差込んでください。

ポイント

- 屋根パネルは後枠側に突き当ててください。(※1)
- アーチ部のみ込み寸法は、左右均等にしてください。
- 屋根パネルは必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

6-2 側枠カバー・アーチカバーの取付け

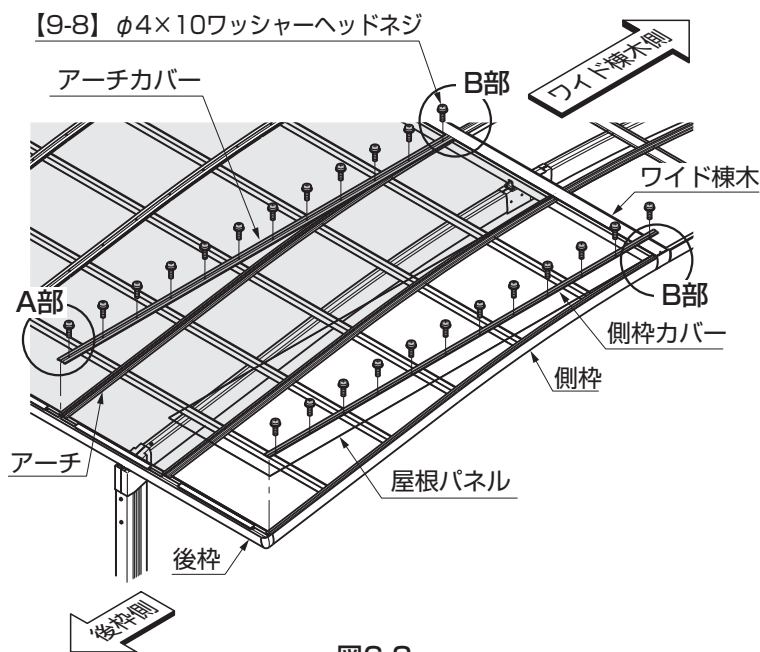


図6-3

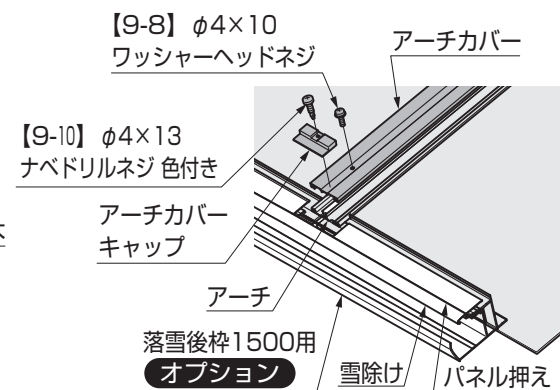


図6-4 A部詳細図 落雪後枠1500用 オプションの場合

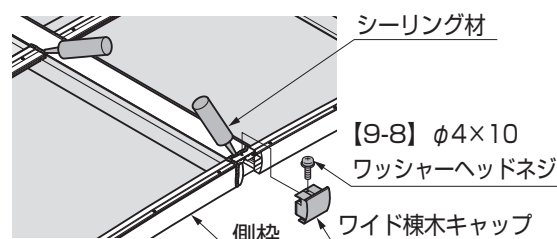


図6-5 B部詳細図

①アーチカバー・側枠カバーをワイド棟木に突き当てて、ワイド棟木側からアーチ・側枠に [9-8] で取付けてください。(図6-3参照)

ポイント

- アーチとアーチカバーがかみ合っていることを確認してください。
- 落雪後枠1500用 オプション の場合、アーチカバーにアーチカバーキャップを [9-10] で取付けてください。(図6-4参照)
- ②アーチカバーとワイド棟木との間と側枠カバーとワイド棟木の上にシーリング材を充てんしてください。(図6-5参照)
- ③ワイド棟木キャップをワイド棟木に [9-8] で取付けてください。
- ④ワイド棟木とワイド棟木キャップの間にシーリング材を充てんしてください。

6. (つづき)

6-3 屋根材ホルダーの取付け **オプション**

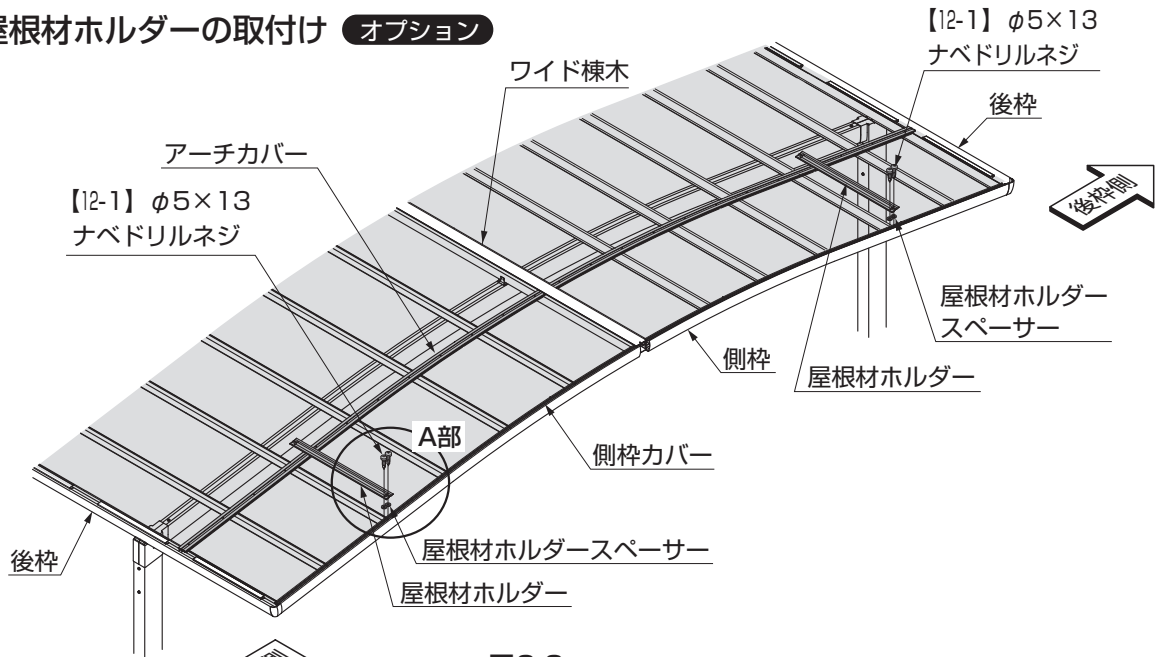


図6-6

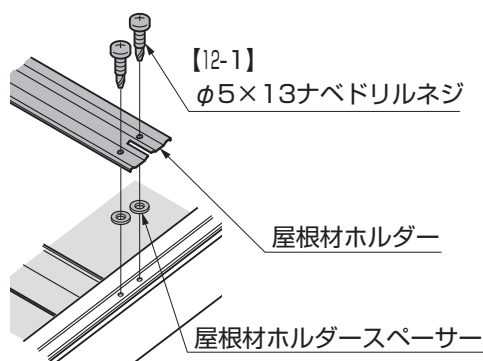


図6-7 A部詳細図

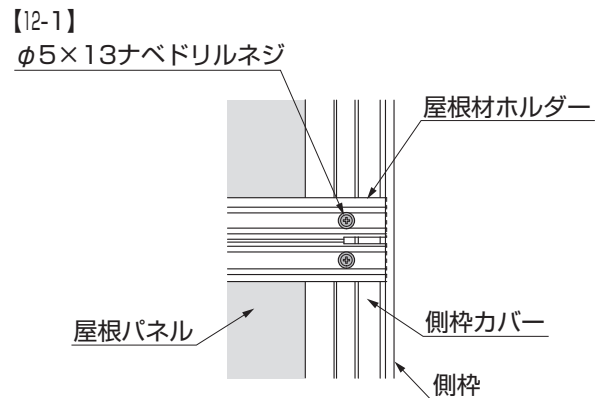


図6-9

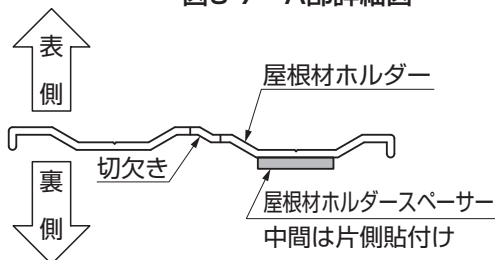


図6-8 屋根材ホルダー断面図

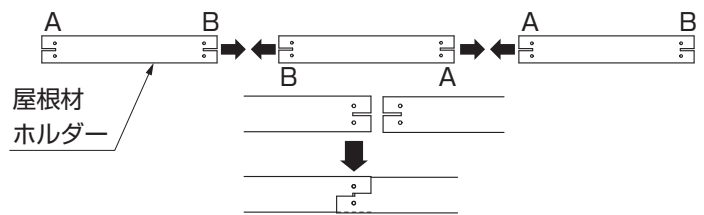


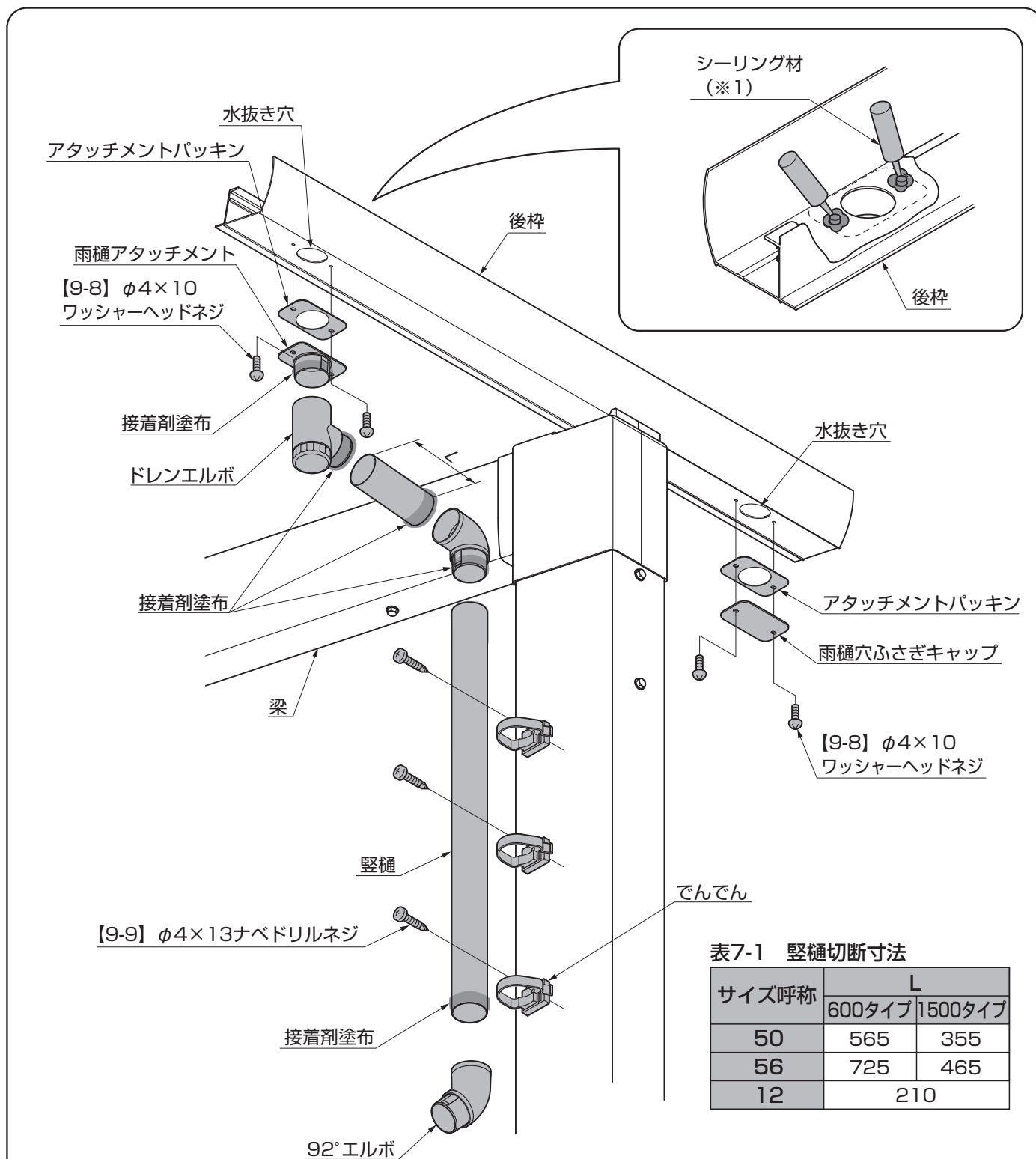
図6-10

①屋根材ホルダーを後杵側から数えて2本目の母屋の真上の位置に【12-1】で取付けてください。(図6-6参照)

ポイント

- 側杵カバー側のネジだけを固定して、反対側は次の屋根パネルとアーチカバーを取付けた後で固定してください。(図6-9参照)
- 2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切り込み部分をかみ合わせるように取付けてください。(図6-10参照)
- アーチカバーには、屋根材ホルダー取付用の穴はあいていません。
- 取付け前に屋根材ホルダー下面に屋根材ホルダースパースーを貼付けてください。(端部：図6-7、中間：図6-8参照)

7. 縦樋の取付け



- ① 縦樋を切断してください。(表7-1参照)
- ② 後枠両端の片方の水抜き穴にアタッチメントパッキン、雨樋アタッチメント、ドレンエルボ、縦樋、92°エルボ、でんでんを接着剤と【9-8】、【9-9】で取付けてください。
- ③ もう一方の水抜き穴に、アタッチメントパッキン、雨樋穴ふさぎキャップを【9-8】で取付けてください。
- ④ ネジ部にシーリング材を充てんしてください。(※1)

4 縦連棟、延長の施工方法

1. 基礎の施工

※基礎構造については「3 基本タイプの施工方法 1. 基礎の施工 1-2 基礎寸法」を参照してください。

1-1 墨出し位置 ※くゝ寸法は奥行き56型を示します。

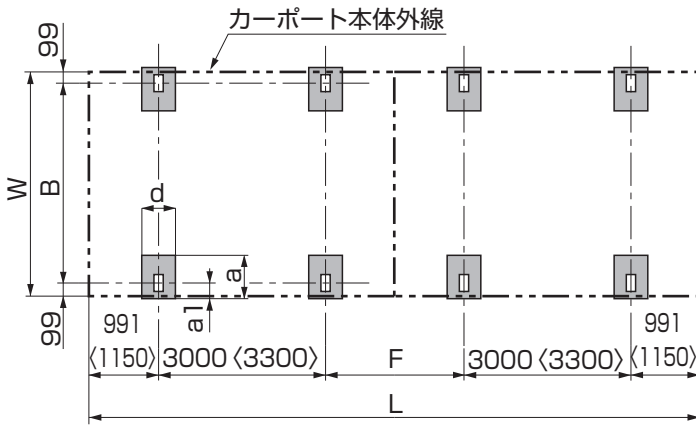


図1-1 600タイプ、連棟の場合

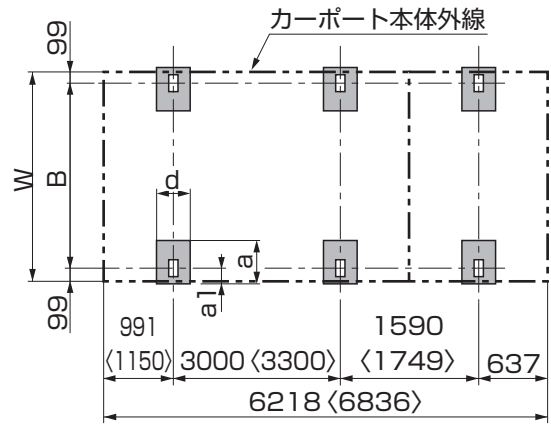


図1-2 600タイプ、延長の場合

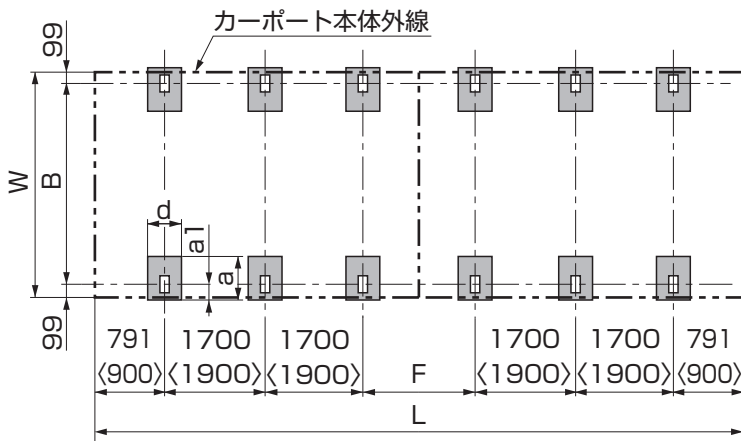


図1-3 1500タイプ、連棟の場合

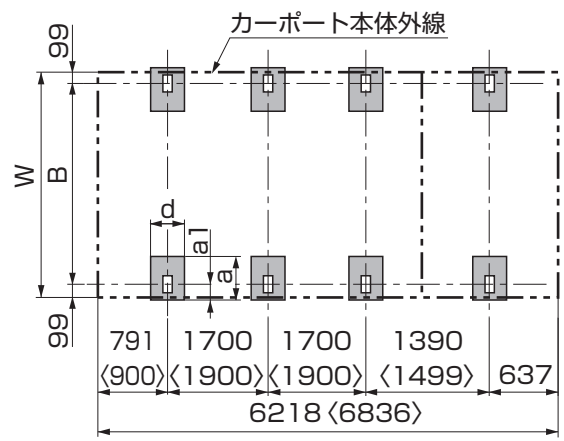


図1-4 1500タイプ、延長の場合

表1-1 墨出し位置

タイプ	サイズ 呼称	W	B	土間なし			土間コンクリート		
				a	a1	d	a	a1	d
600	72	7208	7010	800	300	600	500	250	400
	80	8008	7810	900	300	600	500	250	400
1500	72	7208	7010	800	300	600	500	250	500
	80	8008	7810	900	300	600	500	250	500
1500 凍上	72	7208	7010	800	300	600	500	250	500
	80	8008	7810	900	300	600	500	250	500

表1-2

タイプ	サイズ 呼称	L	F
600	50-50	9926	1944
	50-56	10544	2103
	56-56	11162	2262
1500	50-50	9926	1544
	50-56	10544	1653
	56-56	11162	1762

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補足

- 基礎構造については「2 基本寸法と各部名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内ですが、柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

2. 本体の連結

2-1 部材の加工

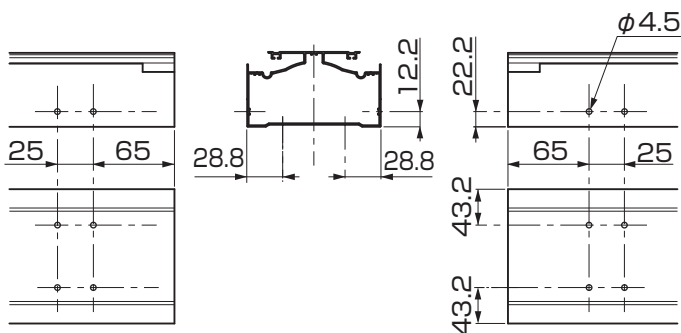


図2-1 ワイド棟木の加工

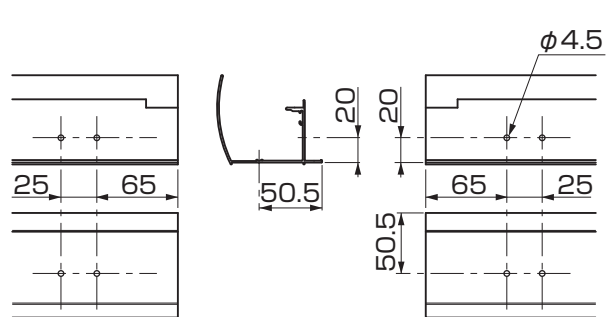


図2-2 後枠の加工

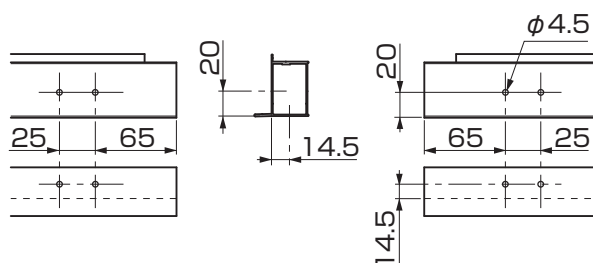


図2-3 母屋 600用の加工

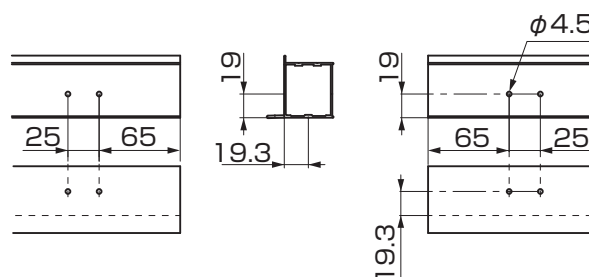


図2-4 母屋 1500用の加工

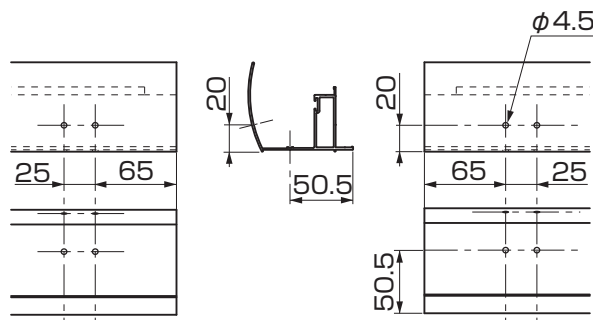


図2-5 後枠 1500用の加工

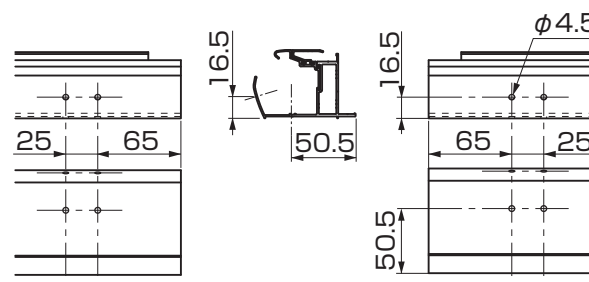


図2-6 落雪後枠 1500用 **オプション** の加工

①組立て前に、ワイド棟木・母屋・後枠の連棟側に穴加工してください。

ポイント

- 母屋側面の穴加工はフィン側にしてください。

2. (つづき)

2-2 本体の組立て

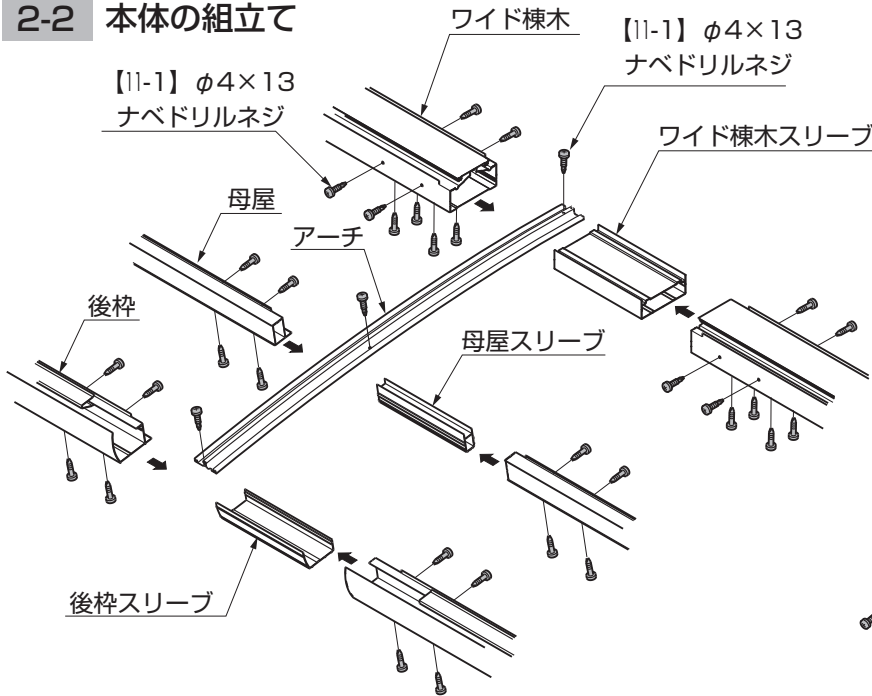


図2-7

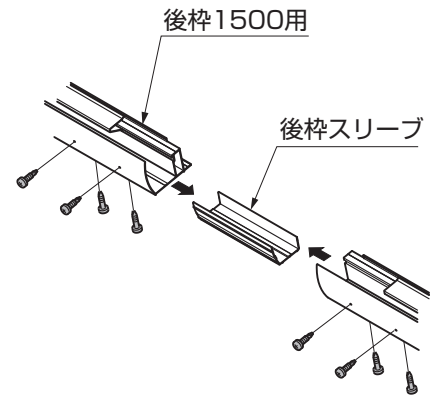


図2-8 後枠 1500用の場合

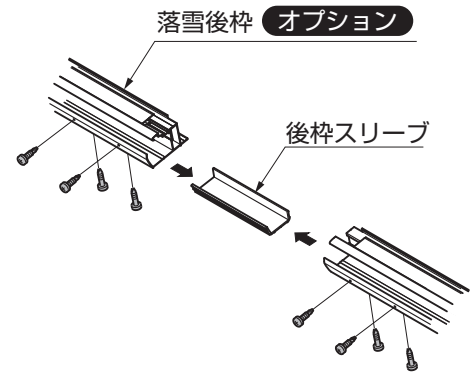


図2-9 落雪後枠 1500用 オプション の場合

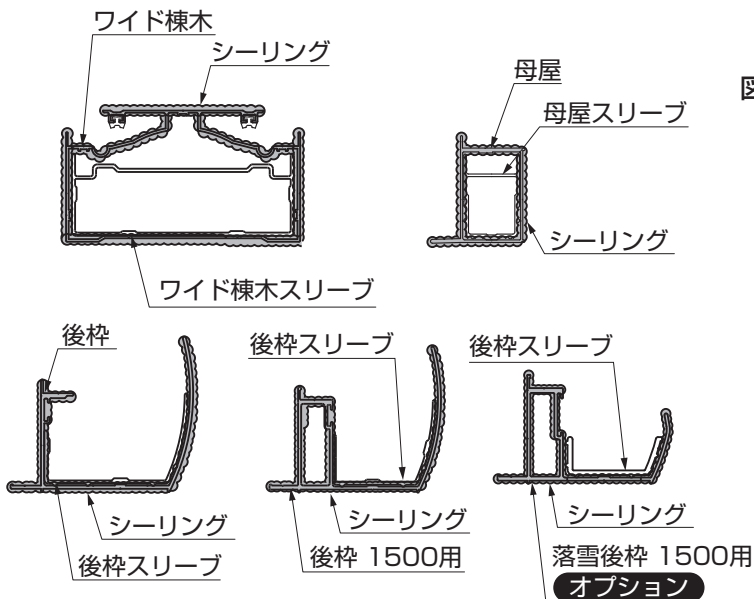


図2-10 シーリング箇所

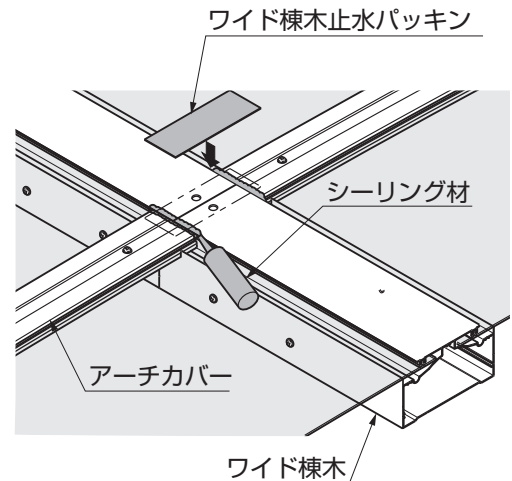


図2-11

- ① 連棟部分にシーリング材を充てんし、連棟スリーブ、ワイド棟木、母屋・後枠をそれぞれ【11-1】で取付けてください。
- ② ワイド棟木の接続部分にワイド棟木止水パッキンを貼付けてください。(図2-11参照)
- ③ アーチカバーとワイド棟木の間に、シーリング材を充てんしてください。